

患者氏名	0	様	病名：	症状：	主治医：	0	印	受け持ち看護師：		
項目	月日	1月0日	1月1日	1月2日	1月3日	1月4日	1月5日	1月6日	1月7日	1月8日
		出生日	日齢1	日齢2	日齢3	日齢4	日齢5	日齢6	日齢7	退院日（予定）
達成目標	・胎外生活に適応し全身状態が安定する ・体重の減少が生理的範囲内で母乳またはミルクをよく飲む									
	・黄疸が生理的範囲内で経過する ・ご家族が育児技術を獲得出来る									
治療・薬剤 （内服）	・細菌検査を行います ・採血や血糖測定を行うことがあります ・呼吸状態のモニタリングを行います ・薬物治療について文書を用いて担当薬剤師が説明します	・毎日、検温と体重測定、経皮的に黄疸の測定を行います。黄疸の値によって光線療法を行うことがあります。								
		・出血予防のK2シロップを内服します	・2日目以降に聴覚検査を行います			・K2シロップを内服します ・黄疸の検査と先天性代謝異常スクリーニング検査の採血をします (希望の男児のみ新生児拡大スクリーニング検査も実施します)			・退院後に飲ませるK2シロップ12回分をお渡しします	
活動・安静度	・ベビーベッド上で過ごします ・ドライテクニックを取り入れているため、毎日は沐浴を行っていません ※ドライテクニックとは…胎脂を残し抗菌作用、低体温予防や体力消耗を防ぐと言われています ある程度の日数が過ぎると、発汗や皮膚トラブルが出やすくなるので、日齢5以降は沐浴を行います									
食事	特別な栄養管理の必要性 無 ・生後6～8時間後に初回ミルクを開始します。その後、3時間おきに授乳します									
排泄	・適宜オムツ交換をします ・必要時、肛門刺激や浣腸を行い排便を促します									
患者様およびご家族への説明	・小児科医より赤ちゃんの状態について説明があります	・状況に応じて小児科医より赤ちゃんの状態について説明があります ・ご家族の面会時におむつ交換や授乳、沐浴などの育児練習ができます							・退院後は母乳やミルクの飲みが悪くなる、元気が無い、おしっこの量が少ない時は病院代表へ電話をして下さい	